

solar**edge**

SolarEdge パワーオプティマイザ産業用

モジュールアドオン

P600 / P700



パワーオプティマイザ

モジュールレベルでの太陽電池出力最適化

産業用および大規模サイト用設置に、最も経済性の高いソリューション

- 最大25%の出力増
- 優れた効率(99.5%)
- システムのバランスを考えたコストの低減: ケーブル、ヒューズや接続箱を半減
- ボルト一本で設置が迅速
- モジュールレベルモニタリングで次世代型メンテナンス
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン
- 太陽光パネル2枚接続使用



SolarEdge パワーオプティマイザ産業用 モジュールアドオン P600 / P700

	P600 (60セル太陽光パネルの二枚付け用)	P700 (72セル太陽光パネルの二枚付け用)	
入力			
定格直流入力電力 ⁽¹⁾	600	700	W
絶対最大入力電圧 (最低温度でのVoc)	96	125	Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 80	12.5 - 105	Vdc
連続最大短絡電流 (Isc)	10		Adc
最大効率	99.5		%
実質効率	98.6		%
過電圧カテゴリー	II		
稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)			
最大出力電流	15		Adc
最大出力電圧	85		Vdc
非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)			
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1		Vdc
適合規格			
EMC	FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3		
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)		
RoHS	適合		
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05		
設置条件			
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相SE9900-JPと各種三相パワーコンディショナ		
最大許容システム電圧	1000		Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	128 x 152 x 43	128 x 152 x 48	mm
重量 (ケーブルを含む)	930		g
入力コネクタ	MC4 ⁽²⁾		
出力コネクタ	MC4		
出力ワイヤー長	1.8 (横置設置)	2.1 (横置設置)	m
動作温度範囲 ⁽³⁾	-40 - +85		°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P		
相対湿度	0 - 100		%

⁽¹⁾ 標準試験環境 (STC) でのモジュール2枚を直列接続した合計の定格電力。+5%までのモジュール電力誤差まで許容。

⁽²⁾ 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ願います。

⁽³⁾ 周囲温度+70°C / +158°F以上では、電力デレーティング値に沿って稼働します。詳細は、「Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note」を参照。

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用したPVシステム設計 ⁽⁴⁾⁽⁵⁾	単相 SE9900-JP	三相 SE25K-JP	三相 SE33.3K-JP	
パワーオプティマイザ	P600	P600 & P700		
最少ストリング長	パワーオプティマイザ	6	13	
	PVモジュール	12	26	
最大ストリング長	パワーオプティマイザ	30		
	PVモジュール	60		
ストリング毎の最大電力	4875	11250	12750 ⁽⁶⁾	W
異なるストリング長と構成での入力接続	Yes			

⁽⁴⁾ 同一ストリング内でのP600とP700の混在使用できます。ただし、P600/P700とP300/P350/P405/P500の混在はできません。

⁽⁵⁾ 奇数枚のPVモジュールの場合は、一枚のPVモジュールにP600/700を使用した構成も可能。

⁽⁶⁾ SE33.3K-JP: ストリング直流電力は最大で15,000W可能ですが、3ストリング全てが接続され且つ各ストリング間の電力差が2,000W以下の場合に限りです。従ってパワーコンディショナーの最大直流電力は45,000Wになります。

